

Rosario Quarterly Information



広報 ロザリオ

第**129**号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



聖家族園屋上から撮影した第24回ロザリオ福祉まつりのスナップ写真です

目次

第24回ロザリオ福祉まつり.....	2	ご寄付に感謝.....	8
「七夕飾り」.....	3	寄付者御芳名.....	9
聖家族園 屋上避難場所.....	3	福祉まつりフォト特集.....	10
平成25年度合同防災訓練.....	4	フォトギャラリー.....	13
高萩福祉センター 近況報告.....	5	新任者紹介.....	15
宮城県亘理町炊出しボランティア.....	6	職員募集のお知らせ.....	16
寄稿文のご紹介.....	7	行事予定・お知らせ.....	16

未来にはばたけ福祉の輪 ― 第24回ロザリオ福祉まつり ―

専務 野口厚司

開催日の一週間ほど前、台風20号が南の海域で発生して関東地方にむけ北上するとの情報を目にしたときは、今年も天気予報とにらめっこの日々が続くかと覚悟しましたが、心配をよそに東方海上にそれたためロザリオ福祉まつり当日は近來まれに見る好天となりました。それに誘われるようにここ数年來見られなかった大勢の人の波が会場を包み、行き交う方々から「人酔いしそう」との声が聞こえるほどでした。

◆ 第24回を数える今回、60周年記念だった前回から新たな一步を刻む出発点としてテーマを「あした・・・未来」に設定、標語やポスターを募集しました。その結果、標語には聖マリア園利用者高野照江様の「未来にはばたけ福祉の輪」が採用され、また、ポスターは一施設と三個人から寄せられた作品すべてを採用させていただきました。

◆ 定刻の午前9時30分、体育館のセレモニーで開会の幕は切つて落とされました。

来賓の千葉県障害福祉課桜井副課長様、地元旭市の明智市長様、銚子市から越川市長様、そして香取市長代理の福水社会福祉課長様からご挨拶をいただいたあと、米本実行委員長と理事長から標語とポスター応募の方々に感謝状と記念品が贈呈されました。

◆ その後体育館では、みんなの家の太鼓演奏に始まり、お囃子や吹奏楽などの賑やかな音が溢れ、正午からのお馴染み椎名佐千子ショーでは大勢の観客であふれかえりました。最近ではすっかり大人の雰囲気漂わせるようになった椎名佐千子さん、デビュー当時を知っている者から見て一段と実力が上がった印象で、貫禄さえ伺わせるステージぶりでした。

◆ 野外ステージに目を移すと、東ゾーンでは専門家はだしの軽音楽が演奏され、南ステージでもギターソロに買い物が足を止めて聴き入るといふ光景が見られました。北ゾーンでは何と言っても千葉ロッテマリーンズMスプラッシュによるチアダンスショーが圧巻で、若さ溢れる躍動感に利用者の皆さんも大喜び。見慣れた顔が演奏する

バンド「雨曜日」のステージでは初めての試みによる利用者の出演がのど自慢大会の様相を呈し、津軽海峡冬景色を熱唱した方には会場から花束が贈られ、最後は出演者全員がステージに上がってフィナーレを飾るなど楽しい雰囲気につつまれていました。

◆ バザー会場をのぞいてみると、南ゾーンでは海上寮、聖母療育園、聖母通園センターなどのテントが並び、焼き肉やポップコーンの香ばしい煙が食欲をそそりました。

◆ 東ゾーンでは、毎年お馴染み黒潮会の餅つきに長蛇の列、鮎の塩焼きもあつというまに完売。

◆ 西ゾーンは北、東、南ゾーンの中継点という場所の利に恵まれたせいか終日賑わいを見せ、福祉団体の模擬店や本会事業所テントなどからも完売の声が聞こえてきました。

◆ ふれあい動物園やチュウチュウトレインなどお子様むけアイテムが揃う北ゾーンは、それに加えて福引きを待つお客さんが二重、三重に列をなす状態で、一時通行に支障をきたすほど。新しくできた

◆ 聖家族園屋上から俯瞰する人の波は第24回を象徴する光景として印象に残りました。

◆ 終わりの会に引き続いて休む間もなく大勢の職員や保護者の皆様と力を合わせて後片付けに務め、大方の整理が着いたのは午後4時半を回った頃だったでしょうか。早朝から立ちずくめだった方も多かったにちがいますが、重い足を引かずながらもある程度の充実感や達成感にひたりながら家路についたことだろうと想像します。

◆ 実行委員会とそれを支えた事務局、ボランティア、ご家族、そして何より利用者の皆さんの協力によって楽しい一日にすることができたことは新たな歴史を築くにふさわしい催しだったように思いますが。

◆ 聖母療育園父母会の企画に始まったこのロザリオ福祉まつり。来年は第25回を迎えることとなります。四半世紀を経過する中で私たちはいろいろなことを経験し学んできました。それらを踏み台にして、真に利用者中心のものとするための企画を実現させていきたいと願っています。

『七夕飾り』

デイサービスセンター・ローザ 主任 島田正江

デイサービスセンター・ローザでは、今年初めて「旭市七夕市民まつり飾り付けコンテスト」に参加しました。



飾り期間は、8月4日の飾り付けから7日の七夕まつり終了までの4日間、中央商店街に飾りしました。「ローザ」百歳バンザイ!!をテーマに、8mの竹飾り2本と創作飾りを出展しました。

この七夕飾りは、集団機能訓練の中で利用者の皆さんと一緒に思い・願いを込めて作った作品です。

二枚の色画用紙を使い色とりどりの提灯を50個作りました。創作飾りではペットボトルを使い、旭市イメージアップキャラクター「あさピー」を作りました。飾り付け初日から強風、最終日には雨・・・画用紙で作った提灯が壊れない事を願う4日間でもありました。

審査結果については、入賞とはならず残念な結果で終わってしまいました。利用者の皆さんと楽しく取り組んだ1か月間、良い思い出となりました。

最後に、飾り付けにご協力頂いた関係者の皆様ありがとうございました。



聖家族園 屋上避難場所

聖家族園 高橋保博

平成23年3月11日東日本大地震が発生し、旭市でも「津波」や「建物の倒壊」などの被害がありました。

聖家族園は、海の近くに建っている施設です。あの大地震以来「大地震＝津波」という事を現実として感じるようになりました。

聖家族園では、東日本大地震があつてから「地震・津波対策の訓練」を行いました。

訓練内容は「利用者・職員全員が公用車にて（海から離れた場所にある）海上公民館へ避難する」というものでした。しかし、次の課題がありました。

課題1 東日本大地震で多くの住民も津波の恐怖を感じているので、次に大地震が発生したら高台に避難する車で大渋滞が起こる。

課題2 地震による道路の沈下などで車が通行できない。

そこで平成25年7月に、聖家族園屋上避難場所を整備しました。地震が発生したら、すぐに波が来ない場所に避難するという点では、今までの対策より短時間で避難できます。

利用者の安全確保に今後さらなる努力をして行きたいと考えます。



平成25年度合同防災訓練

聖家族園 防災担当 飯島優一

9月4日(水) 聖家族園を主体として平成25年度合同防災訓練を実施しました。

訓練の流れとしては、まず大規模地震が発生。その後、聖家族園ボイラー室より出火、初期消火と同時に避難誘導、というのが主な内容でした。

地震が発生し、全員その場でしゃがみ、職員は近くの窓等の開放を迅速に行い、揺れが収まるまでその場で待機しました。通常の防災訓練等の経験があることで利用者に大きな混乱もなく、火災が発生して避難する際も皆迅速に行動することができていました。

ボイラー室より火災が発生すると、各施設より応援の職員の方が駆け付け、消火を援護するという形は例年同様です。昨年度は旭市消防本部から消防隊を呼んで、消火活

動を行ってもらいました。本年も同様に協力を依頼し、消防車を1台出動してもらいました。消火を行ってもらいました。聖家族園の避難場所は管理棟玄関前でしたが、そこに施設内の利用者全員と当日出勤していた職員



全員が避難するのに掛かった時間は6分弱で、出火元を迂回して避難誘導を行った割には、案外早い時間で避難することができていました。何よりも利用者「全員」が避難することができたのが、今回の訓練の成果でした。聖家族園では特性上、訓練に参加することが難しい利用者が居ました。日頃から防災訓練を行っていたことが結果し、文字通り「全員」スムーズに避難する事ができました。勿論これは訓練で、本当の災害だったら、利用者を担ぎ上げてでも避難しなければなりません。

しかし、自分の意思で危険を察知してその危険から離れるという習慣を常日頃の訓練で知っていただければ、事故や怪我等もなく、より安全で確実な避難を行うことが、最終的に出来るようになるのだと思います。

今回の訓練を通して再度、訓練の重要性を認識しました。これからも意味のある、内容の充実した防災訓練を実施していきたいと思



高萩福祉センター―近況報告

リニューアルから
3か月が経過して…

聖ヨセフつどいの家

所長 杉田明

高萩福祉センターがオープンして3か月の時がたち、これまで別々に活動してきた17名の利用者の方々も新しい環境に戸惑うことなく、余裕のある活動スペースでのびのびと活動をしています。体育館でボーリングやエアートランポリンなどを行ったり、広い廊下を歩行器などを利用して歩いたり、様々な活動が出来るようになりました。新しい機械浴での入浴も、少しずつ人数を増やして行っています。この3か月の間に見学に訪れた方々は60名を超え、これからも様々な方の見学が予定されています。見学にいらした方々からは今後の事業展開を含めて、いろいろな期待を込めたご意見を寄せていただきました。また、新しく利用を希

望される方も増えてきており、年度内には定員30名まで近づくことができそうな見通しです。

そして、時間の経過とともに課題も少しずつ見えてきました。利用者の皆さんの多様なニーズに応えるには、環境整備は常に改善を繰り返していく必要があります。また、広いグラウンドや植栽の管理は、思った以上に労力を必要とします。さらに、福祉避難所としての機能を果たすべく備品等の整備を検討しています。高萩福祉センターは、相談支援事業所と就業・生活支援センターが併設されていることも大きな特徴です。地域福祉の拠点として3つの事業所の連携をより強固なものへと発展させることも必要となってきました。これらの課題は、これから一つひとつ丁寧に解決していきたいと思えます。

これまで小学校として積み重ねた時間の重さを感じながら、福祉施設として新たな歴史を利用者の皆さんとともに、たくさんの笑顔

でつづれるようにしていきたいと思えます。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



事務所移転から3ヶ月がたって

香取障害者支援センター

主任 石橋友樹

私たちの事務所が高萩福祉センターに移転して3ヶ月が経過しました。この間、利用者や関係機関に対しては、事務所移転の案内はがきを送り、また、各市町に対しては、新しいパンフレットを窓口置くなどして周知を図ってきました。その成果もあり、特に混乱もなく事務所移転ができました。

高萩福祉センターには、それぞれ事業内容の違う3つの事業所が同居しています。その結果、相談支援、就労支援、日中活動支援間の連携体制が強化され、利用者にとつて、より良い仕組みが構築されたのではないかと思います。

また、課題としては、来所される方が減ってしまったという問題点も生まれてきました。以前の事務所は香取市役所から近かったという事で、市役所でサービス申請をした帰りに、具体的なサービスの相談に来られる方が、少なから

ずいらつしやいました。また、特に相談はないが、近くに来たので寄ってみたという方もいました。相談の場所でもあり、くつろぎの場所でもありました。訪問活動を今まで以上に重要視し、できる限り多くの利用者と接する機会を増やす事で、この課題を解決していきたいと考えています。

新たな相談支援体制が構築できるように、職員一同で取り組んでいきますので、今後ともよろしくお願い致します。

再出発から3か月が経過して

香取就業センター

主任就業支援担当者 立花沙由里

高萩福祉センターに事務所を移転して3か月が経ちました。相談に来られる方や事業主の方、関係機関の方々にも周知を図らせていただき、スムーズに事務所移転ができたと思います。また、相談スペースも確保でき、相談しやすい環境で話をする事が可能となりま

した。

またこの3か月は、障害手帳のあるなしに関わらず「働きたい」「働き続けるためにどうしたよいか」等と職業相談に来られる方が、徐々に増えてきております。相談に来られる方の気持ちを聴き、サポートできるように引き続き取り組んでいきたいと思っています。

高萩福祉センターには、それぞれ違った機能を持つ3つの事業所が所属をしているという事も、移転してからの特徴と思います。この機能を活かしながら香取圏域で就業支援を通じ必要と考えられる新しい仕組みを検討し、展開できるように活動をしていきたいと思えます。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



宮城県亘理町炊出しボランティア

みんなの家 所長 辻内理章

千葉県内の12法人(のさか学園、中里の家、中野学園、ひかり学園、わかたけ社会センター、清郷会&槐の会、けやき社会センター、オリーブハウス、中郷丸、九曜会、みづき会、ロザリオの聖母会)が炊出しボランティアに参加しました。ロザリオの聖母会は昨年の炊き出しから参加させていただき、今回は8人(内訳：家族園4人、海上寮1人、みんなの家3人)で参加しました。やきうどん、からあげ、ところてんを提供し、被災者の方にお祭りを楽しんでいただきました。



昨年の開催時よりも仮設住宅の周辺に建物が増え、少しずつではあるが活性化されてきた印象でした。まだまだ大変な思いをされている方もいると聞きました。が、これからの未来に向けて一人

ひとりが頑張っている印象を受けたので、我々も今後出来ることをしていこうという気持ちで、旭へ帰ってきました。

ロザリオの聖母会へよせられた寄稿文をご紹介します

東日本大震災を経験して

旭市 八杉榮子



ボランティア活動中の八杉榮子さん

平成23年3月11日の東日本大震災の日、いつものようにジョギングに出かける準備をしてテレビを見ていた時地震が起きました。車で飯岡保健福祉センターに避難したのですが、まさか津波が来るとは思わず、貴重品もなにも持たずに避難してしまっただけで、1時間くらいしてから一旦家に戻りました。車のエンジンをかけたまま家で靴を履いたまま上り、貴重品と寒かったので毛布を車のトランクに入れ、さらに上着を取りに戻ったのです。その時に津波

が海の方から来たのではなく飯岡玉前神社の方から来たのです。逃げようと思いついて玄関を少し開けた途端家に波が押し寄せました。家は平屋なので高いところがありません。「どうしよう、どうしよう」と思いパニック状態になり、居間に置いてあったこたつをベッドの上に置き、その上に乗り無我夢中で「来るな！来るな！」と叫んでいました。波の勢いで物が倒れる音が鳴り響いていました。外を見ると前の家の階段に5〜6人の人達がいて「今逃げないともうまたすぐに津波が来るから逃げる！」言っていました。すでに腰のあたりまで水が来ていました。私の車は50m先に浮いていました。貴重品と毛布がトランクに積んだままだったので、何とか車まで行き、それを持ってそこから波の来ていない50m先の道に出ました。濡れた体で歩いて飯岡保健福祉センターを目指しました。126号線を通る車に声を掛けても断られ、とにかく夢中で歩きました。避難所には1日だけお世話になり、電話連絡取れずわたしのことを探し回っていた妹夫婦の家にお世話になることになりました。

翌日被災した家を見た時は、頭の

中はカラッポ、涙も言葉も出ず、ただただ何も考えられない状態でした。とにかく土砂やがれきなどの片付けを夢中で行いました。親類や友達、ボランティアの方々にお世話になりました。なんとか片付けが終わり、その後、飯岡に仮設住宅が150戸できることを知り、平成23年5月20日に入居しました。

仮設住宅での生活は精神的に苦しい日々でした。神経質な私は物音一つでも夜眠れず、なかなか仮設住宅での生活には慣れません。余震があると昼夜問わず誰よりも早く飛び出し、周りの人達に笑われています。今までのいかに平和な生活だったのかと身に染みしました。私の部屋の周りには1人暮らしの方が多く、同じ痛みを持つ仲間として助け合おうという気持ちがありました。

仮設住宅には多くのボランティアさんが訪れ、いろいろとお世話になりましたが、何も考えられない日々が幾日も続きました。そんな時、集会所に相談室が作られ、生活支援アドバイザーという相談員に巡り合いました。地元の社会福祉法人ロザリオの聖母会の職員とのこと。毎日声をかけていただき、これがひとつの

きっかけになりました。自分のためにもボランティアさんが行う集まりに参加してみようかと思うようになり、行こう「まけないぞう」作りは、作るたびにいろいろな顔の表情が出来るようになります。平成一四年の春には、仮設で知り合った仲間と共に、お花見に出かけました。震災の年には全くなかった気持ちになり、そして今年の春には、あの時避難をした飯岡保健福祉センターの桜の花を仲間と共に楽しみました。少しずつですが外に気持ちが向くようになっていったのです。

ボランティアさんの活動は様々なものがありました。特に心の支えとなったのが城西国際大学の松下先生たちの活動です。3年目になる今でも続いています。仮設住宅の殻に綴じ込まないよう声を掛けられ、様々な活動を一緒にしました。同じ心の痛みを持つ福島県いわき市の仮設生活へボランティアとして訪問もしました。このような活動に対して、生活支援アドバイザーは必要とあらば私たちの手となり足となり応援してくれました。

少しの優しさがどんなに大きいのなのか、震災を経験してわかりました。震災は不幸であったけれど、当たり前のことがどんなに幸せか、人と人との出会いがどんなに大切かということを教えてくれました。

東日本大震災から2年半が過ぎようとしています。旭市の復興に關するニュースは東北地方に比べてあまり聞かれませんが、しかし旭市でも津波により15名の尊い命が亡くなったことを忘れないよう伝えていきたいと思えます。そして、全国の応援してくださった方々に感謝いたします。ありがとうございました。

矢指スポーツ少年団

監督 五十嵐隆元



土日祝日に海上寮グラウンドを使用させていただき活動している当少年団は、矢指小の生徒18名(6

年：5人、4年：8人、3年：2人、2年：3人)の部員がおり、9名の指導者は全員がその父兄というチームです。また、野球だけでなく、挨拶、礼儀、感謝の気持ち、仲間と助け合うことの大事さなどが身に付くよう指導しています。

今年度の主な成績は、東総地区春季大会：3位、旭市外学区春季大会：準優勝、東総地区低学年大会：準優勝(東総地区代表として県大会出場)、旭市スポーツ少年団秋季大会：3位と、ここ数年徐々に良い成績が残せるようになっていきます。ロザリオの聖母会様には心より感謝しつつ、地域の子供たちの健全育成に努めてまいりたいと思えます。



◆◆ご寄付に感謝◆◆

千葉県共同募金会様より

聖母通園センター

永井株式会社様より寄付

佐原聖家族園

聖母通園センターでは平成25年9月11日に、千葉県共同募金会様から助成を頂き、車椅子対応の日産キャラバンを購入する事ができました。これまでに使用していたマイクロバスの老朽化もあり、利用者・職員共に大変喜んでおります。利用者を送迎する事、施設・法人の看板を背負っている事の責任を感じながら大切に使用していきます。この場をお借りして、共同募金会

このたび佐原聖家族園では、永井建設株式会社 永井宏治様より香取市社会福祉協議会を通してバスタオル50枚を頂きました。新しいカラフルなバスタオルに利用者も大変喜んでおります。ご寄付いただきありがとうございました。

様ならばに赤い羽根募金にご協力頂いた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。



寄付者御芳名

平成25年
6月18日
〜
9月18日

谷川 鎌押君 証芳 網相 前保 根竹 越吉 加伊 石 (有) 菅清 笹岩 伊吉 堀姫 加奥 宇穴 種
口島 方田 塚木 賀中 澤田 坂本 下川 川川 カトリック松戸教会 加瀬昭二様 伊藤信勝様 石毛滋樹様 (有)ユーシン電設様 菅谷敏博様 清水美子様 笹本一男様 岩井昭夫様 伊藤武夫様 吉田政夫様 堀越宏昌様 姫沼伸雄様 加藤伸雄様 奥田富徹様 宇野沢富男様 穴澤久子様 種田ミチ子様

野田 菅片 岩長 鈴秋 平平 竹香 懐宇 石五 飯小 伊西 椿 小尾 大 旭市 森 增 鈴 篠 佐 越
口村 谷野 瀬田 木葉 葉野 野野 蓋取 懐石料理サザエ 宇井千代子様 石田利行様 五十嵐利子様 飯田聡章様 小川浩章様 伊藤俊光様 西藤利文様 西山進様 尾形佳美様 大塚理恵様 旭市母子寡婦福祉会旭地区 加瀬和子様 森啓至様 増子紘純様 鈴木弘作様 篠塚純様 佐藤澄江様 越川幸様

鈴木 石名 林滝 高 (株) 関栗 大池 日向 菅太 伊穴 飯齋 工角 伊石 村丸 藤玉 田米 吉宮 大 伊林
木井 雪 口橋 東根 林野 田向 井田 藤澤 島藤 藤藤 藤角 伊石 村丸 藤玉 田米 吉宮 大 伊林
淳卓 茂 とめ 昭彦 弥基 一夫 幸人 三喜男 唯路 りのり 満博 正幸 子子 子子 子子 夫治 操孝 隆治 弘二 弥榮子 さわぶ のぶ 二郎 貴範 俊介 様

東日本電信電話(株)様 松田幸雄様 大木勝様 (有)アドラップ様 梅室知子様 飯岡徳乃様 吉川礼江様 伊藤清江様 金島正明様 安藤裕美様 星野豊和様 木志根茂行様 副島隆様 カトリック片瀬教会様 柴田美和子様 齋藤テルエ様 小久保晶様 伊藤健司様 藤原京子様 大原睦美様 大野柳三様 ダスキン銚子グループ様 黒田勝次様 中沢豊子様 宮内キン子様 田辺弘昭様 石川善昭様 宮崎知己様 滑川利枝様 常世田末様 本田ひで子様 久保木章二様 加瀬和子様 西山博様 西丸義輝様 柳野恵美子様 成毛金茂様 田本明様 (有)宮負自動車様

椎名静子様 (福)やまだ福祉文庫自然様 (株)トラヤ様 工藤悦子様 西尾優子様 服部雅英様 宮崎輝子様 鈴木篤博様 ショッピングセンターサンモール様 中村復樹様 あざみ会長鈴木たえ様 井出芙美子様 山中知恵子様 菅原智子様 鈴木洋志様 風間誠様 聖心会 足立様 バラエティギフト みすか様 櫻井ふく様 田中長子様 国保小見川総合病院付属看護専門学校様 (株)国際エアールジー 代表取締役社長 大山吉男様 千葉興業銀行様 カトリック片瀬教会 福祉委員会様 山蔭和子様 辻岡紀美子様 土屋保険サービス様 ほほえみ会様 安藤裕子様 小嶋昭三様 アサヒボウル様 二見アグリ様 上野秀樹様 吉田達夫様 日本カーソリューションズ(株)様 大胡雅巳様

第24回ロザリオ福祉まつり「協力をいただきました
ありがとうございます」

【支援団体】

リーフ 様
 黒潮会 様
 矢指会・旭市ボランティア連協 様
 光園芸 様
 高木鮮魚店 様
 白水会 様
 株式会社網中建築設計事務所 様
 みよし会 様
 株式会社伊藤工務店 様
 神宮寺ソフトクラブ 様
 足川岡若葉会 様
 旭遊技業組合 様
 N T T 東日本千葉銚子営業支店 様
 ボーイスカウト旭第2団 様
 ガールスカウト千葉69団 様
 あなたのちやわん 様
 株式会社ダイユー恒産 様
 マミーハウス 様
 ふれあい移動動物園 川上企画 様
 鈴木建設株式会社 様
 鶴澤建設株式会社 様
 八日市場ガス株式会社 様
 ラッキーキッズ 様

【ボランティア】

旭市立矢指小学校 様
 旭市立旭一中学校 様
 旭市立旭二中学校 様
 旭市立飯岡中学校 様
 旭市立海上中学校 様
 旭市立干潟中学校 様
 千葉県立旭農業高等学校 様
 千葉県立銚子商業高等学校 様
 千葉県立銚子高等学校 様
 千葉県立匝瑳高等学校 様
 銚子市立銚子高等学校 様
 敬愛大学八日市場高等学校 様
 千葉県立佐原白楊高等学校 様
 千葉県立小見川高等学校 様
 千葉明德短期大学 様
 千葉敬愛短期大学 様
 植草学園短期大学 様
 小見川看護専門学校 様
 旭中央病院付属看護専門学校 様
 成田国際福祉専門学校 様
 城西国際大学 様
 文教大学 様
 淑徳大学 様

(順不同)

第24回ロザリオ福祉まつり

H 25.9.29

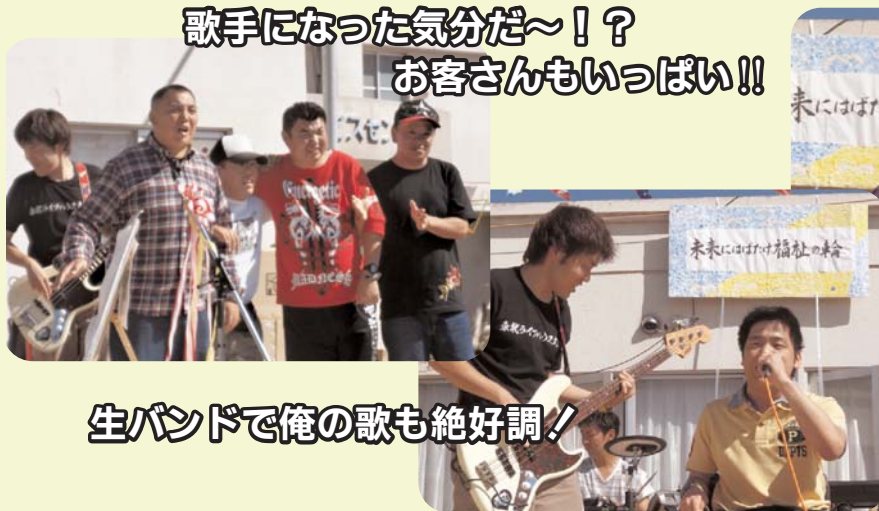




心に響け、楽鼓隊！



利用者さん飛び入り参加の
ライブステージです



歌手になった気分だ〜！？
お客さんもいっぱい！！

生バンドで俺の歌も絶好調！



よっ、百恵ちゃん



おもちゃを
たくさん買いました☆



魚のつかみどり
コーナーです



チケットで、
何買おうかしら！？



親子でカレーパンを〜美味しい！



お天気最高！
次はどこ行こうかなあ〜



ひよこもうさぎも
かわいいね！

仲良く食べよう♪



参加賞GETしました



初めての乗馬体験？



いっぱい食べています！！

たくさんすくえたかな？



大人気!! ふわふわチューチュートレインです

ギターの色で
気分は最高♪



ボランティアさんと、ハイ/チーズ!!

楽しすぎて、この笑顔！！



Photo Gallery



浴衣姿パツ子リ♪



お御輿の隣で
皆さんにご挨拶



焼きそばおいしい！
一回いかが？



お花のバルーンをもらいました～♪



笑顔満開！
甚平姿素敵でしょう？

男前2人組!!



提灯の明かりの中、皆で佐原小唄～

★佐原聖家族園★

★ 聖家族作業所 ★

スイカ割りにチャレンジ!!



バーベキューの準備中です!

手を取りました!



納涼祭、楽しい!

★ 聖マリアア園 ★



酒々井のアウトレットでランチ♪

★ 聖母療育園 ★



納涼祭楽しんでます!!



花王工場に行ってきたよ☆



うーっ!!マンボウ!!



ペンギンやアザラシのプール

★みんなの家★



めんたいパーク大洗いきました!



パン班納涼祭は佐原でランチ♪



幕張でランチビュッフェ♪



千葉県警察本部



ただいま地図の勉強中!!
(伊能忠敬記念館)

見学ツアーの白バイ体験!!

聖母療育園



看護師

梶文代

看護師歴20年以上のベテランさんです。利用者さんに優しく、丁寧に接してくれています。趣味は韓流のDVD鑑賞です。



聖母療育園



言語聴覚士

城戸麻里

趣味は登山にマラソンとアクティブな方です。そのフットワークの良さを今後の仕事に活かしてもらえたらと思います。

海上療養所



臨床心理士

関 家 亜弥子

9月よりデイケア担当として入職しました。今迄の経験を生かし、活躍してくれることを期待します。

新任者紹介

お知らせ

障害者週間行事

日時 平成25年12月6日(金)
13:00～16:00

場所 千葉県東総文化会館 小ホール

【第1部 13:00】

平成25年度第22回ボランティア感謝式
平成25年度第22回作文コンクール表彰式

【第2部 14:00】

障害者週間記念講演会
講師 陽和病院 精神科医師
森川 すいめい 先生

主催 社会福祉法人 ロザリオの聖母会

行事予定

- 25.10. 1 上半期人事考課月間、入職2年目研修
- 2 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 8 入職3年目研修
- 9 創立記念日行事、経営会議
- 10 経営会議
- 11 クリーンデー
- 15 入職4年目研修
- 16 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 17 千葉県社会福祉事業団見学
- 22 入職5年目研修
- 26 第三回職場説明会
- 11. 5～7 新採用職員研修会
- 6 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 8 クリーンデー
- 12 研修会議、研修委員会
- 13 経営会議
- 20 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 21 通所事業所連絡会議
- 27 理事会、評議員会
- 28 印旛健康福祉センター監査
- 12. 4 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 6 障害者週間行事(ロザリオ福祉作文コンクール表彰式・ボランティア感謝式・講演会)、26年度入職者事前研修
- 11 経営会議
- 13 クリーンデー
- 18 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 25 クリスマス休日
- 30～1/3 年末年始休暇
- 26. 1. 4 新年あいさつ会
- 8 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 10 クリーンデー
- 14 研修会議、研修委員会、中管理職全体研修
- 15 経営会議
- 16 通所事業所連絡会議
- 22 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 29 理事会

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。お願ひのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ
TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。看護師を募集しています。
◆随時面接を行っておりますので、本部総務課までご連絡ください
TEL 0479(60)0600
(担当 採用係)

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトに
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

医療 療養 施設	医療型障害児入所施設・療養介護事業所	聖母療育園	生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点)	児童発達支援・放課後等デイサービス事業所	聖母通園センター	旭市子ども発達センター	児童発達支援事業	障害者支援施設	障害者マリアン施設	障害者支援施設	障がい者の就労促進事業所	生活介護事業所	共同生活介護・共同生活援助事業所	高年齢者支援事業	ロザリオ高齢者支援センター	ロザリオ訪問介護事業所	通所介護・介護予防通所事業所	障害者支援施設	障害者支援施設	生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点)	共同生活介護・共同生活援助事業所	地域生活支援センター	友の家の	中核地域生活支援センター	障害者就業・生活支援センター	海匠ネットワーク	東総就業センター	療育相談事業	ロザリオ発達支援センター	香取市相談支援センター	障害者就業・生活支援センター	香取就業センター
----------------	--------------------	-------	----------------------------	----------------------	----------	-------------	----------	---------	-----------	---------	--------------	---------	------------------	----------	---------------	-------------	----------------	---------	---------	----------------------------	------------------	------------	------	--------------	----------------	----------	----------	--------	--------------	-------------	----------------	----------



このロゴマークは、師イエズス修道女会 北爪悦子修道女 により作成されました。